

「塩トマトは価格が高いのになぜ売れるのか」（意外性のある教材）を考えることを通して、経済活動は生産、流通、消費の3つの側面から見ていかななくてはならないことに気づかせます。

## 社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成19年11月13日（火）第2校時  
場 所 八代ハーモニーホール3階：中会議室  
年 組 八代市立泉中学校 3年1組  
男子11名 女子9名 計20名  
指導者 八代市立泉中学校 教諭 沖田亮治

### 1 単元名 「わたしたちの生活と経済～塩トマトから市場経済に迫る～」(東京書籍P106～119)

### 2 単元について

#### (1) 単元観

生徒たちは資本主義経済の中で暮らしており、「生産・流通・消費」といった経済活動の中で、直接的には商品の購買という形でその経済活動に参加している。よって、本単元では経済活動の意義について消費生活を中心に理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方を身につけさせることを大きなねらいとしている。

日本人の消費生活は、1960（昭和35）年ごろから大きく変わった。生活用品のすべてにわたって多種多様な製品がつけられ、かつての高級品も多くの人の手に届くようになった。

第1次産業が盛んな熊本県の中でも、子どもたちが生活している八代地域におけるトマト栽培はとても盛んで、熊本県（トマト生産では日本一）全体の約8割が八代平野から出荷される。しかし、日本を代表する産地であるにもかかわらず、いわゆる「一級品」は大都市部に多く出荷され、地元で消費されることがほとんどないというのが現状である。

具体的には、「塩トマト」にスポットを当てて、経済活動がさまざまな条件の中での選択を通じて行われているという点に着目させて、市場経済において個々人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを選択すること、また価格には何をどれだけ生産・消費するかにかかわって、人的・物質的資源を効率よく配分する役割があることを理解させたい。

#### (2) 系統観

##### ①小学校からの系統性

学年	学 習 内 容
3・4年	「店の工夫」「買い物の工夫」「特色のある店」
5年	「消費者と生産者の交流」「運輸・貿易の働き」「くらしの中のコマーシャル」
6年	「会社の誕生」「経済の高度成長と暮らし」

##### ②中学校の系統性

学年	学 習 内 容
1年	「身近な地域の調査」「都道府県の調査」
2年	「なぜトマトなのか（八代平野で）」「トマトと塩トマトの違いについて」
3年	「塩トマトを食べよう」

### (3) 生徒観

本校は校区がとても広く、本学級の中には平日は寮で生活している生徒もいる。

社会科の学習に対しては、概ね関心が高く、落ち着いた雰囲気です。授業に取り組むことができる。社会事象に対して、その背景にあるものを考えることを好む生徒も数名おり、その生徒たちは活発に発言することができる。しかし、資料をもとに思考・判断し、自分の考えを発表することを苦手としている生徒もおり、知識の定着度も個人差が大きい。また、生活経験にも大きな差がある。

本単元に関する実態調査の結果は以下の通りである。

(20名から全員回収 9月20日実施)

#### ① 経済という言葉から何を連想するか？

- ・株(4人) ・利益(2人) ・お金(2人) ・お金の動き ・お金のやり取り ・お金の循環
- ・売買 ・税金問題 ・自分達の生活に必要な ・財務省 ・政府 ・社会 ・国を支えている
- ・国の情勢 ・1名無回答

#### ② 商品（農作物など）はどのようなルートで自分達の家庭に来るのか？

- ・生産者→店→家庭(10人) ・生産者→市場→店→家庭(4人)
- ・生産者→卸売商→小売商→消費者(2人) ・生産者→せり→店→家庭
- ・生産者→検査場→店→家庭 ・生産者→各会社→店→家庭 ・1名無回答

#### ③ 商品（農作物など）を買ってもらうにはどのような工夫をすればよいか？

- ・安くする。(18人) ・安全性をアピールする(8人) ・味の良いものを作る(3人)
- ・良い商品を作る(3人) ・ほかのものと違うところをアピールする(3人)
- ・見た目をきれいにする

#### ④ 商品（農作物など）を買う時に重視することは何か？

項目	人数	理由
価格	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違いがあまりないなら、安いほうが得するから。</li> <li>・品物に応じた値段でないと買えない。</li> <li>・安くて手軽なものを求めるから。</li> <li>・安いほうが大量に買えるから。</li> </ul>
安全性	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全でなかったら買わない。(8人)</li> <li>・体に害のあるものだと困る。(7人)</li> <li>・誰がどのように作ったかがわかると安心できる。(3人)</li> </ul>
品質	0	
見た目	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目がいいと、買いたくなるから。(3人)</li> </ul>
産地(ブランド)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国産は安全ではないと思うから。</li> </ul>

#### ⑤ トマトと「松永さんの塩トマト」だったら、どちらを買うか？

項目	人数	理由
松永さんの塩トマト	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいものを食べたい。(11人)</li> <li>・甘いから。(5人)</li> <li>・生産者が分かっているので安心。(3人)</li> <li>・ふつうのトマトより食べやすいから。</li> <li>・値段があまり変わらないなら、おいしい方を買う。</li> <li>・初めて食べた時、おいしさにびっくりしたから。</li> </ul>

		・丁寧に時間をかけて大切に作られているから。
トマト	4	・塩トマトはおいしいけど高いのでトマトを買う。(2人) ・値段が高すぎるとトマトよりも入手困難だから。 ・安いほうがいいから。

#### (4) 指導観

指導要領では、「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させ・・・」や「身近で具体的な事例を取り上げ・・・」と《身近な》ものを扱うように述べられている。しかし、本校の生徒の実態や地域の実態から、教科書に載っているようなハンバーガーショップなどは身近なものとは言い難い。

そこで、生徒の持っている「安くすれば売れる」という概念に矛盾し、且つ、経済活動がさまざまな条件の中での選択を通じて行われているという課題意識を持たせるのに適し、さらに、地域の産業から経済を考えることができる、塩トマトを教材にすることにした。

そこで、2年生の3学期に、「なぜトマトなのか（八代平野で）」を学習させた。そのときの流れは次の通りである。①全国における熊本県のトマト生産が第一位であることを統計資料で確認する。②熊本県のトマト生産の約8割が八代平野で行われていることを知らせる。③「なぜ八代平野ではトマトの生産が盛んなのか」というテーマを追究するための仮説を一人一人に立てさせる。④自分の仮説を検証するための調査をする。⑤検証結果の報告（発表会）をする。このような流れで学習を組み立てることによって、自分なりの根拠を持ち、根拠をもとに価値判断を行う場面を設定した。

その後、生徒の追究活動の中で、「塩トマトって何？」という新たな疑問が出てきたので、「トマトと塩トマトの違い」について次の通り調べさせた。①塩トマトについて調査項目を設定する。②調査項目を追究する。③追究結果の報告（発表会）をする。本学級の生徒のうち、「塩トマト」を知っていたのは2人だったので、ほとんどの生徒が知的好奇心や問題意識を持ち、学習に取り組んでいた。

さらに、3年生になって、実際に食べてみたいという生徒の欲求から、農家の方のご好意もあって塩トマトを食べさせることにした。①見て気づいたこと②食べて気づいたことを書かせた後、「いくらで買いますか？」と投げかけた。このときも自分の根拠を明確にして価格を設定していた。

このような流れで事前に学習してきているので、本単元では一般的なトマトの約2倍の価格であるにもかかわらず売れる塩トマトから、流通のしくみや市場価格、商品の選択、生産のしくみを考えることができる発問を導入段階で工夫することによって、確かな意欲を持たせたい。また、導入段階での自分の予測を資料をもとに判断する場面を設定することによって、確かな知識を身につけさせたい。

### 3 単元目標

#### 【確かな意欲】

身近で意外性のある教材を通して経済活動や現実の経済に対して関心を持たせ、経済活動における選択や経済上の諸課題について意欲的に追究させる。

#### 【確かな知識】

消費生活を通して、経済活動の意義や生産・流通・消費といった経済の大まかなしくみをとらえさせるとともに、人間の生活の維持・向上に欠かせないものであることを理解させる。

#### 【確かな判断】

具体的な事例を通して、経済活動における選択について、消費者・生産者の立場や流通の面などから多面的・多角的に考えさせ、公正に判断させる。

#### 【資料活用の技能・表現】

経済活動と社会生活との密接なかかわりについて、さまざまな資料を用いて自分の考えをわかりやす

くまとめ、発表させる。

#### 4 単元の指導計画（7時間取り扱い）

過程	次	時	主な学習活動	評価	
つかむ イメージする	1	1 本時	塩トマトは価格が高いのになぜ売れるのかを考える。	消費者・生産者のそれぞれの立場や流通の側面から塩トマトを通して経済活動について考えようとする。(発表内容)【関心・意欲・態度】 市場経済の仕組みを知る上で、何を学ぶ必要があるのかについて気づくことができる。(発表内容)【思考・判断】	
		1	消費者が商品やサービスを購入する際、自ずと選択の原理が働いていることに気づく。(塩トマトと普通のトマトの選択)	必要な費用(予算)を意識した上で、合理的な選択ができる。(ノート)【思考・判断】	
再構成する	2	1	宣伝や広告と日常の消費行動との関係に着目し、消費者主権について考える。(テレビCMや新聞の折り込み広告)	身近な宣伝や広告を通して、その役割や効果について関心を持って、意欲的に調査や話し合いに取り組むことができる。(行動観察)【関心・意欲・態度】 消費者の権利と保護の重要性について、実際の企業の努力や取り組みを通して考察することができる。(ノート)【思考・判断】	
		3	1	企業の目的から資本主義経済の大まかな特徴を理解する。(塩トマトの出荷先)	資本主義経済の大まかな特徴と株式会社のしくみを理解することができる。(チェックテスト)【知識・理解】
		4	1	様々な商品の流通経路に関心を持ち、流通の仕事について理解する。(塩トマトと普通のトマトの比較)	野菜の流通経路に関心を持ち、流通の仕事について理解することができる。(チェックテスト)【知識・理解】
定着させる ふくらませる	5	1	商品の価格の決め方を考え、経済についての関心を深める。(トマトの需要と供給)	市場経済の基本的な考え方を踏まえ、トマトの入荷量と価格の動きの関係を読みとることができる。(ノート・発表内容)【技能・表現】	
		1	価格の上下が生産資源の適切な調整をしていることを理解する。(塩トマトからミニトマトへの移行)	松永さんが、塩トマトからミニトマトに移行されようとしているのはなぜかを考える。(発表内容)【関心・意欲・態度】 価格には人的・物的資源を効率よく配分するシグナルの役割があることを理解することができる。(チェックテスト)【知識・理解】	

## 5 本時の学習

### (1) 本時の目標

○消費者・生産者のそれぞれの立場や流通の側面から塩トマトを通して経済活動について考えようとする。

○市場経済の仕組みを知る上で、何を学ぶ必要があるのかについて気づくことができる。

### (2) 本時の展開